

2024年1月1日～2024年6月30日の間に
福山市民病院東館3、4、5、6階病棟及び救命救急センターICU・HCUから転院された方へ
—「転院時薬剤管理サマリーの転院元医療機関における有効性」へご協力をお願い—

当院では以下の臨床研究を実施しています。この研究は、当院倫理審査委員会において倫理的および科学的に問題がないか審査を行い承認され、院長の許可を得ています。ご理解とご協力をお願いいたします。

研究機関名	福山市民病院	薬剤科		
研究責任者	福山市民病院	薬剤科	薬剤師	平井 理恵
院内共同研究者	福山市民病院	薬剤科	薬剤師	藤尾 夕起
	福山市民病院	薬剤科	薬剤師	前原 健司
	福山市民病院	薬剤科	薬剤師	寄高 美奈子
	福山市民病院	薬剤科	薬剤師	杉原 義彦
	福山市民病院	薬剤科	薬剤師	山崎 結智
	福山市民病院	薬剤科	科長補佐	川合 恵
	福山市民病院	薬剤科	科長	藤井 秀一

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

薬剤管理サマリーは、病気の薬物治療を退院後もスムーズに続けるための医療機関同士の情報連携ツールとして、日本病院薬剤師会によって作成され、積極的な活用が勧められています。当院から地域の回復期・慢性期医療機関への転院はとて多く、転院先への情報提供が重要であると考え、2024年4月から転院患者様を対象とし薬剤管理サマリーの運用を一部の病棟で開始しました。薬剤管理サマリーが、受け取った医療機関にとって有効だったとの報告は多数ありますが、一方で転院元医療機関での影響についての報告はあまりありません。本研究では、転院元医療機関での有効性を調べることを目的としています。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

薬剤管理サマリーの転院元医療機関での有効性を確認することで、薬物療法の適正化に貢献することができます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2024年1月1日～2024年6月30日の間に福山市民病院東館3、4、5、6階病棟及び救命救急センターICU・HCUから転院された方240名を研究対象とします。

2) 研究期間

2024年9月30日(当院倫理審査委員会承認日)～2024年11月17日

3) 研究方法

薬剤管理サマリー運用開始前(2024年1月から2024年3月)と運用開始後(2024年4月から2024年6月)で、処方内容や診療情報提供書に関する転院前に行った疑義照会件数の比較を行い、転院元医療機関での薬剤管理サマリーの有効性を調べます。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたのデータより病院のID、氏名を取り除き、研究対象者の個人情報とは無関係の番号をつけて、個人が特定できないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・転院時の年齢、性別、診療科、病棟名
- ・当院から転院先医療機関への診療情報提供書
- ・処方
- ・薬剤管理サマリー
- ・当院薬剤師による診療情報提供書確認の有無
- ・当院薬剤師による当院医師への疑義照会の有無

5) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した電子情報はパスワード等で制御されたコンピューターに保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、当院のホームページに掲載してお知らせします。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等(父母(親権者)、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人)を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はあなたのデータを個人が特定できない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、2024年10月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

福山市民病院 薬剤科 平井 理恵
電話：084-941-5151(代表)